

(別紙 3)

沖縄県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	イノシシ（イノブタを含む。）
技術名	島嶼部における外来イノシシの根絶に向けた効果的捕獲手法
実証地域	慶良間諸島（渡嘉敷村及び座間味村）
実証時期	令和 7 年 4 月 ～ 令和 8 年 3 月
実施体制	委託により実施し、検討委員会において評価を行う。
事業費	6, 7 1 5 千円

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の目的・目標、実施状況、効果、課題等

対象地域である慶良間諸島（渡嘉敷村及び座間味村）には有人島や無人島等多くの島があり、イノシシも分布を拡大させている状況である。現在、箱わな、囲いわな、くくりわな、誘引狙撃等の手法を用いて、渡嘉敷島と座間味島を中心に捕獲を実施している。

しかし、島毎に面積や地形、イノシシの生息数等が異なり、また、夜間にしか出没しない個体の出現、在来種の錯誤捕獲や盗食といった課題もあることから、根絶を目指すためには、課題を解決するとともに、効果的な捕獲手法を検討・検証する必要がある。

注：捕獲等事業によって目指す地域の状況や、軽減したい被害に関する目標、そのために必要な密度低減の考え方や捕獲数、捕獲の実施状況・効果・課題等を記載すること。

3 地域実証する技術の目的・目標・具体的な内容・効果等

① イノシシに特化した給餌方法の検討

阿嘉島において、イノシシを狙撃ポイントやわな等に誘引し捕獲するにあたり、既存の給餌器や餌、過年度に検証した簡易囲いわなでは天然記念物であるケラマジカの錯誤捕獲を防ぐことができず、捕獲効率が低下するといった課題がある。

今後、阿嘉島において誘引狙撃やわなによる捕獲を実施するにあたり、ケラマジカの錯誤捕獲や盗食を防止し、イノシシを効果的に捕獲できるよう、令和 6 年度事業でイノシシを選択的に給餌させることが可能であると思料された給餌ボックスを用いた捕獲を実施し、錯誤捕獲防止効果等について検証を行った。

② 餌の埋設手法の検証

上記の給餌ボックスよりも安価なコストでイノシシを選択的に給餌させるとともに、誘引地点に長く留めることにより捕獲機会を増加させ、効率的な捕獲が見込める餌の埋設手法（Post-Hole Method）について検証を行った。

③ サーマルドローンの活用

妊娠～出産期において誘引地点に出没しない成獣メス個体の位置を把握し、効果的に捕獲するため、サーマルドローンによるイノシシの探索について検証を行った。

注1：2を踏まえて、地域実証する目的や必要性、実証の場所や日程、方法、内容、想定される効果等を具体的に記載すること。

注2：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

注3：事業終了後の評価報告においては、注1～2について実施した内容・結果を具体的に記入すること。

4 技術の効果の検証・評価方法/結果

① イノシシに特化した給餌方法の検討

阿嘉島において、イノシシのみが開閉可能と思料された給餌ボックスを用いて誘引を行ったところ、ケラマジカが自力でボックスを開ける様子は確認されず、選択的にイノシシ3頭を捕獲することができた。一方、イノシシが掻き出した餌をケラマジカが横取りする様子が確認され、ケラマジカに被弾する可能性があるため捕獲が実施できない事例があった。また、体重2～3kgのイノシシ幼獣は給餌ボックスの扉を開けることができないことが明らかとなった。

② 餌の埋設手法の検証

Post-Hole Methodを導入した埋設による給餌方法では、ケラマジカの出没は確認されたが盗食はなく、選択的にイノシシ8頭を捕獲することができた。一方、誘引後に電動掘削機を使用したことにより、警戒心が高まった個体が出没しなくなるという課題が生じた。

③ サーマルドローンの活用

出産期である5月にサーマルドローンを用いてイノシシを探索したところ、草地で3個体、森林域で2個体を探知することができ、それぞれの植生において適当と思料される飛行高度、カメラ角度を検討することができた。

注：3を踏まえ、実施結果の確認方法や目的・目標に対する地域実証の効果を図るための指標（被害指標や密度指標等）やその収集方法、評価の方法等について記入すること（事業終了後の評価報告においては、その評価結果を具体的に記入すること。）。

5 技術の活用・普及方法、その他

今回検証した餌の埋設手法について、イノシシに選択的に給餌し捕獲することが可能であると思料された。一方で課題も確認したため、次年度は課題の解消を試みるとともに、同じく選択性のある給餌ボックスと組み合わせた捕獲の実証を行いたいと考えている。

また、今回検証したサーマルドローンを活用し、イノシシの撮影頻度が増加しているにもかかわらず捕獲が進んでいない地域において、イノシシを探知し、効率的な捕獲手法の検討・検証を行いたいと考えている。

注1：地域実証する技術の活用・普及方法について記載するとともに、地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

注2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。



実施区域

慶良間諸島（渡嘉敷村及び座間味村）の全域